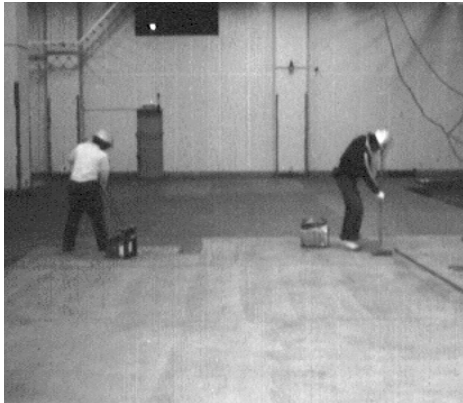


エポキシ樹脂系塗り床・ライニング材



ボンドE410R

ボンドE410Rは、エポキシ樹脂の持つすぐれた接着性、機械的特性、化学的特性などを高度に活用した塗り床・ライニング材です。床材として要求される性能や施工性、仕上り状態などの諸条件を、バランスよく満足させた高性能材料として、関連業界に広く好評を頂いております。

■用途

耐久性塗り床：食品、製薬、電気、製紙、繊維、機械、自動車、化学等の各種床仕上に。
耐水性ライニング：プール等に。
防塵：工場、倉庫、駐車場等に。
その他：シームレスな塗膜で美装、清潔な床を要求される個所に。

■特長

密着性：プライマーとの併用でコンクリートや金属などの接着性に優れます。
施工性：塗布作業性に優れます。
仕上り：光沢のある均一なシームレスフローを形成します。
耐久性：耐薬品、耐油、耐水性に優れ、かつ適度な可とう性があり、耐久性に優れます。

■性状

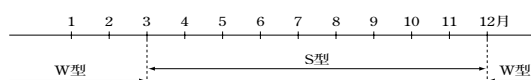
項目	主 剤		硬 化 剤	
	各シーズン共通		S型（通年用）	W型（冬用）
主 成 分	エポキシ樹脂		変性脂肪族ポリアミン	
外 観	着色液体		淡黄色透明液	
粘 度	4000±1000mPa・s (25℃)	1300±300mPa・s (25℃)	500±200mPa・s (25℃)	
混 合 比	主剤：硬化剤＝5：1（質量比）			
可 使 時 間	S：40±10分，W：15±10分（20℃，500g）			

※性状は改良のため予告なく変更する場合があります。

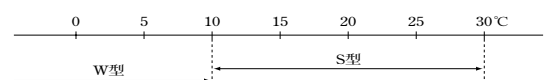
■使用方法

- 施工面は、ホコリや油などを取り除き乾燥させてください。
- まず、E410Rの主剤のみを十分に攪拌し均一にしてください。次にE410Rの主剤と硬化剤を5：1（質量比）の混合比で計量し、十分に混合攪拌してください。さらに別の容器に移し再度十分に攪拌して使用してください。攪拌が不十分な場合は、硬化不良を起こすことがあります。
- 一度に混合する量は、可使時間以内に使いきれぬ量にしてください。
- 器具類に付着したものは、硬化する前に有機溶剤でふき取ってください。
- 施工後24時間以上（20℃）の養生が必要です。養生にあたっては、過度の振動、衝撃、水分などを与えないように注意してください。
- 低温時は硬化が著しく遅れます。原則として5℃以上の環境で使用してください。
- S型、W型の使い分けは原則として下記の通りですが、季節にこだわらず、施工場所の環境温度で硬化剤を使い分けてください。

1) 月区分



2) 温度区分



※施工仕様は「ボンドライニングシステム」カタログをご参照ください。

■技術データ

1. 硬化樹脂の性能規格 (社内規格値)

試験項目	社内規格値	試験方法
比重	1.50±0.10	JIS K 7112
圧縮降伏強さ (N/mm ²) {kgf/cm ² }	9.8 {100} 以上 (5%オフセット値)	JIS K 7208
曲げ強さ (N/mm ²) {kgf/cm ² }	4.9 {50} 以上	JIS K 7203
引張強さ (N/mm ²) {kgf/cm ² }	7.8 {80} 以上	JIS K 7113
硬度 (HDD)	70以上	JIS K 7215

※硬化条件：20±1℃、7日間

2. 耐薬品性

薬品	S型	W型
20℃ 水道水	○	○
20℃ 5%塩酸	△	△
20℃ 5%硫酸	×	×
20℃ 5%水酸化ナトリウム	○	○
20℃ 5%酢酸	×	×
20℃ マシン油	○	○

○：異常なし △：変色、脱色 ×：ふくれ

※条件：20±1℃で7日間硬化養生後、3ヶ月間浸漬

3. 温度と可使用時間の関係

温度	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃
タイプ						
S型	—	75分	54分	36分	27分	17分
W型	57分	39分	23分	12分	—	—

※混合量：500g (温度上昇法)

■色調

標準色：レイクグリーン、ソフトグリーン、ミルクホワイト、グレー、パールグレー、アイボリー、ライトブルー

※色調は「ボンドライニングシステム・標準色見本帳」をご参照ください。

■梱包容量

●E410R：18kgセット (主剤：15kg、硬化剤：3kg)

■警告

健康に有害な物質を含有しています。
かぶれやすい物質です。

注意事項：本品は皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱ってください。

- 火気のある場所では使用しない。
- 作業場所は十分に換気する。
- 取り扱い中は皮フにふれないように注意し、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、または送気マスク、保護手袋、保護メガネなどを着用する。
- 容器からこぼれないように出し入れする。
- 容器からこぼれた場合には、砂を散布したのち処理する。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。
- 作業衣などに付着した場合には、すみやかにその汚れをよく落とす。
- 皮フに付着した場合にはすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。痛みや外観に変化がある場合には医師の診察を受ける。
- 蒸気やガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にする。必要に応じて医師の診察を受ける。
- 眼に入った場合には多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受ける。
- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いる。
- 温度が40℃以下の場所を定めて保管する。また、使用後は密封する。
- 指定された以外の材料と混合しない。
- 大量に混合すると、発熱し煙が発生したり可使用時間が短くなることもある。可使用時間以内に使いきれぬ量を混合する。
- 温度が5℃以下になると、極端に硬化が遅くなる。

※詳細な注意事項が必要な場合には、製品安全データシート (MSDS) をご参照ください。

国際単位系 (SI) による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10⁻²J、1MPa=1N/mm²です。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社 ボンド建設部

本 部 / 大阪市中央区平野町2-1-2 (沢の鶴ビル) 〒541-0046 TEL06(6228)2961 FAX06(6228)2927
東京支店 / 東京都千代田区神田錦町2-3 (竹橋スクエア) 〒101-0054 TEL03(5259)5737 FAX03(5259)2144

札幌支店 TEL011(612)0211 FAX011(612)0219
名古屋支店 TEL052(262)8173 FAX052(262)8175
福岡支店 TEL092(551)1764 FAX092(551)1545

仙台営業所 TEL022(211)5031 FAX022(211)4990
北関東営業所 TEL027(324)3002 FAX027(324)1187
厚木営業所 TEL0462(29)9610 FAX0462(29)9636

金沢営業所 TEL076(223)1565 FAX076(223)4794
広島営業所 TEL082(294)8811 FAX082(292)3188
高松営業所 TEL087(835)2020 FAX087(835)4623